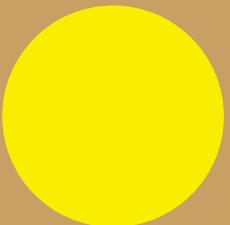
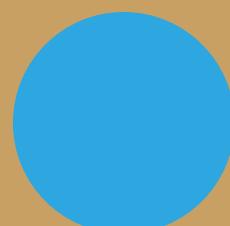
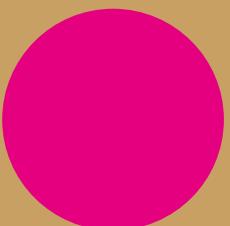


# ギカイだよい

vol  
156  
平成27年11月1日



どこの写真か  
わかりますか?  
(答えは裏表紙)



## つなぐ人と人――

坂出市議会は、市民の皆さまの架け橋となり、市民の皆さまに開かれ、  
わかりやすく、市民の皆さまが参画できる議会の実現を目指していきます。

### content

税金の使い途をチェック	
平成26年度決算審査	2~3
一般質問	5~9
委員会レポート	10
審議結果	11

# 決算審査速報

～皆さんの税金は  
この1年どう使われたのか～

「ここに使った予算は期待どおりの成果を出せたのか」「適正に使われたのか」を審査するのが決算審査特別委員会です。議会基本条例で位置づけた議会の大重要な役割の1つである「予算執行の監視（チェック）」は、この決算審査過程で行われています。



## 【空き家対策】

本年5月に施行された空き家等対策の推進に関する特別措置法により、そのまま放置すれば倒壊等著しく保安上危険となるおそれのある状態等の空き家等（特定空家等）には、各自治体が最終的には行政代執行法に基づいた措置を講ずることも可能となりました。

- Q** 倒壊等の恐れのある危険な空き家の撤去までのプロセスは。  
**A** まず現地調査を行い、所有者等に対し適切な管理の依頼に努めた後、なお改善がみられない場合に行政代執行（撤去）を行うことができます。ただし、個人の財産権を制約するため、相当慎重な対応が求められます。

### 委員会の意見

特定空家等について、行政代執行を安易に行うことは慎むべきであるが、個々の事例についての過去の経緯、緊急度、危険性等を十分考慮し、組織的な対応を含め、可能な限り速やかな対応を求める。



## 総務消防委員会関連

## 【新婚世帯家賃補助事業】

市内の民間賃貸住宅に居住する新婚世帯に対し月額1万円以内、最長で24ヶ月分の家賃を補助する制度で、平成28年度までの期間限定の事業です。

- Q** 新婚世帯家賃補助制度が大きな効果を上げていることから、さらに定住を促す住居取得に対する助成を実施する考えは。  
**A** 家賃補助制度利用者へのアンケート調査などにより、市民ニーズを把握し、費用対効果を勘案した上で、家賃補助制度の継続も含め、実効性のある施策を検討していきます。



## 決算審査特別委員会

### 一般会計

歳入総額	歳出総額	歳入歳出差引額	実質収支額
230億2,362万円	219億8,077万円	10億4,285万円	8億7,176万円

### 特別会計(国民健康保険など10会計)

歳入総額	歳出総額	歳入歳出差引額	実質収支額
148億858万円	147億7,789万円	3,069万円	2,786万円

### 企業会計(収益的収支の状況)

	収 益	費 用	損 益
病院事業	40億2,270万円	39億9,118万円	3,152万円
水道事業	14億612万円	13億140万円	1億472万円

(万円未満を四捨五入)

一般会計実質収支額は8億7,176万円（前年度比25.2%減）の黒字となりました。また、国民健康保険特別会計は、△9,824万円と、平成10年度以来の実質収支赤字となっています。

## 【府中湖カヌー競技場の整備】

**Q** カヌー競技の東京五輪事前合宿誘致に向けた取り組み状況は。

**A** カヌー競技において事前合宿地として決定した自治体は現在のところありません。現在、競技関係者への陳情等、鏡意努力しているところです。

### 委員の意見

事前合宿誘致に向けて、老朽化した研修施設の改修や、さらなる練習環境の整備充実を！

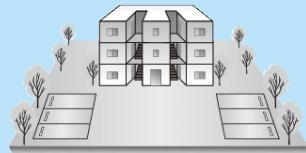


## 教育民生委員会関連

## 【旧市立病院の跡地の活用】

**Q** 閉院してまもなく1年が経過し、周辺住民から治安の悪化も心配される旧市立病院の跡地の活用方針は。

**A** 市街地におけるハード面の将来像であるグランディングデザインとの関連もありますが、新病院開院後には建物解体撤去を計画していたことから、来年度以降の解体撤去を含め、跡地の有効活用について検討を行っていきます。



## 【仲よし教室】

### (放課後児童健全育成事業)

昼間保護者がいない家庭のうち小学校4年生までの児童を対象

**Q** 市民には大変好評な事業。保護者のニーズに応じて6年生まで延長する考えは。

**A** 概ね2年後に5年生までの受け入れ、平成31年度に6年生を受け入れる計画です。新教室が必要なため、早期の拡充は慎重な検討が必要です。

### 委員の意見

ニーズ調査を実施し、希望が多い場合は計画を前倒しての対応を！



## 【公営住宅等長寿命化計画】

**Q** 公営住宅等長寿命化計画の内容は。

**A** 住宅の供給数と需要、人口の推移や世帯数の状況、公営住宅への応募状況も加味しながら、平成25年度の計画策定当時、922戸あった公営住宅を、統廃合による建て替え等により770戸まで減らすものです。また、バリアフリーを含めた戸別の改修も行う予定です。



## 市民建設委員会関連

## 【中小企業の振興策】

**Q** 中小企業を取り巻く経営環境は厳しさを増す中、市内企業の大多数を占める中小企業の振興に行政としてどのように関わっていくのか。

**A** 現在、坂出商工会議所が小規模事業者の実態把握のための全数調査を予定しており、その結果を受けて今後の対策を検討していきます。また、策定中のまちづくり基本構想や総合戦略の中でも中小企業振興について検討しています。



## 閉会中審査日程

- |           |                            |
|-----------|----------------------------|
| 10月 1日(木) | 総務消防委員会関連<br>(総務部・消防)      |
| 10月 5日(月) | 教育民生委員会関連<br>(健康福祉部・市立病院)  |
| 10月 6日(火) | 教育民生委員会関連<br>(教育委員会)       |
| 10月13日(火) | 市民建設委員会関連<br>(市民生活部・水道局)   |
| 10月14日(水) | 市民建設委員会関連<br>(建設経済部・農業委員会) |
| 11月 9日(月) | 総括・まとめ                     |

## 委員構成

【委員長】	松成 国宏
【副委員長】	村井 孝彦
【委 員】	若谷 修治 斎藤 義明
	茨 智仁 野角 満昭
	楠井 常夫 山条 忠文

今期から議員定数が削減されたことに伴い、委員定数を11名から8名へ変更しています。

9月定例会で設置された決算審査特別委員会は、継続審査を行うこととし、閉会中の審査を経て、12月定例会にて各議案の表決を行う予定です。



# 9月定例会の概要

9月定例会では、初日に市長から条例の一部改正案3件、補正予算案2件、公有水面埋立てなどの議案4件、平成26年度の決算認定案13件の計22件が提案され、決算認定を除く9議案について各常任委員会での審査を経て、いずれも原案のとおり可決しました。

また、最終日には人事案件4件が追加提案され、いずれも原案のとおり可決しました。

(議案の審議結果は11ページをご覧ください。)

## 主な議案を

## マイナンバー制度の導入



通知カードの再交付  
500円  
個人番号カードの再交付  
800円  
※金額は1件当たり

### ○坂出市個人情報保護条例の一部改正

番号法では、個人番号が付された個人情報については、特定個人情報として取り扱い、個人識別性が極めて高いことから、一般的の個人情報よりも厳格な保護措置を講ずることとされています。これに伴い、本市で保有することとなる特定個人情報について適正に取り扱うことを目的とします。

### ○坂出市手数料条例の一部改正

マイナンバー制度の導入に当たって、10月より個人番号と基本4情報(氏名、住所、性別、生年月日)が記載された通知カードが郵送されます。また、平成28年1月以降、希望者に対して申請により、個人番号と基本4情報がICチップに記録された顔写真付きの個人番号カードが交付されます。

通知カード、個人番号カードは初回のみ交付手数料は無料となりますが、紛失等により再交付を希望する場合は費用が必要となるため、再交付に必要な手数料について定めるものです。

番号法…「行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律」の略称です。この法律は、住民票を有するすべての国民に個人番号を付番することにより、社会保障・税・災害対策分野において、行政運営の効率化・適正化を図るとともに、国民の利便性を向上させること等を目的としています。

## 一般会計補正予算

一般会計補正予算案は、5億3,939万7千円を増額し、補正後の予算総額を237億5,102万5千円とするものです。

### 総務費

財政調整基金積立金 4億5,000万円

財政調整基金条例の規定により平成26年度の黒字額の1/2相当を基金に積立

### 教育費

東部中学校屋内運動場  
屋根改修工事

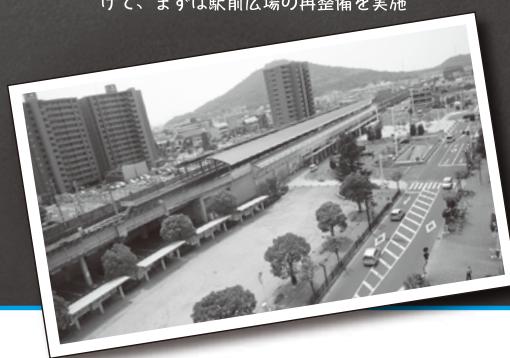
1,200万円

老朽化した体育館屋根について、台風11号の被害の復旧も合わせ早急に改修工事を実施

### 土木費

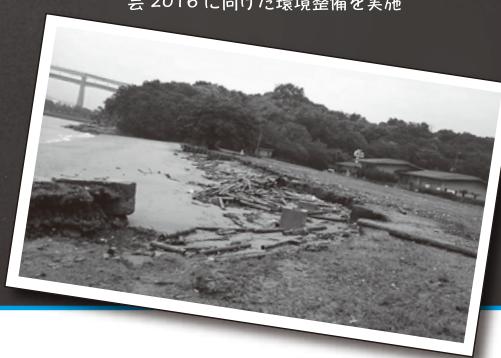
坂出駅北口駅前広場再整備  
基本設計業務委託料 250万円

JR坂出駅周辺を中心とした市街地の再編整備に向けて、まずは駅前広場の再整備を実施



ナカンダ浜等周辺整備工事 400万円

台風11号の被害の復旧工事を行うとともに、瀬戸芸2016に向けた環境整備を実施



**本市観光振興の目玉に  
旧坂出港務所の改修を**



**A** 旧港務所の情景は、観光素材としてのポテンシャルを持つていると考えており、観光協会では、港町として栄えた坂出の再発見を目的に、坂出港の発祥の地である沖湛甫、西運河、赤灯台、中央ふ頭などを巡る、まちあるきを実施しています。

なお、建築後80年以上が経過している旧港務所を観光目的の施設に改修するには、外壁の剥離等も見られるところから、外装のみの改修としても多額の費用が必要になると見込まれます。

(建設経済部長)

**Q** 旧坂出港務所は、レトロな趣と風格を備えた坂出の宝とも言える建物である。改修に向けた検討を進め、本市観光の目玉の一つとすべきだと考えるがどうか。



**質問の主な項目**

- ・まちづくり基本構想等の進捗状況
- ・瀬戸内国際芸術祭
- ・沙弥島、ナカソーダ浜等のあり方

**健康づくりのために市内公園に  
健康遊具を設置しては**

**Q** 全国の公園で中高年向けの大入用「健康遊具」の設置が増えているが、本市の公園においても、介護予防や健康づくりのために設置を検討してはどうか。

**A** 市民の健康づくりには、生活の中に適度な運動を取り入れ、健康の増進や体力作りに努め、生活習慣病の予防に繋げることが必要であり、その目的において、健康遊具は、ストレッチや簡単な筋力トレーニングなどの運動ができ、非常に効果があるものと考えています。

現在、運動を習慣化するための環境整備に向けて、多くの方々がジョギングやウォーキングなどに利用している坂出緩衝緑地を中心に、利用者の利便性も考慮する中で、設置を検討しています。(建設経済部長)



(健康福祉部長)

**子育て支援のために子供が安心して遊べる場を増やしては**

**Q** 人口が増加している加茂町、また中心市街地でさえも小さい子供が安心して遊べる場が少ないという声がある。人口減少対策の観点からも、児童公園等の整備を充実しては。

**A** 本年度、子育て支援の充実を図るため、林田町の旧坂出ハイツを子育て支援センターとして整備しているところです。この施設は、主に就学前の子供とその保護者を対象としており、子育てに関する相談・指導や情報の提供、親子の交流・集いの場の提供等の事業を実施し、子育て環境の充実を推進していきます。また、屋外に複合遊具、砂場や小型遊具のほか、日除けテントを設置し、子供が楽しく、安全に遊べる施設であり、来年4月の開設を予定しています。

(健康福祉部長)



**質問の主な項目**

- ・まちづくり基本構想の実現に向けた新たな推進部署の創設
- ・都市公園の現状
- ・市民サポート登録制度の創設

**ボランティアガイド養成事業  
のさらなる充実を**

**Q** まち歩き等のボランティアガイド養成事業の概要や今後の事業展開は。

**A** 新たなボランティア制度の構築に向けて、活動内容の情報発信、相互協力体制などについて、まち歩きを行っているところです。

また、本年5月より、観光ガイドリーダー研修会を開催し、ガイドの養成に努めています。研修会では、先進事例の紹介や意見交換を行うとともに、現地研修として、崇徳上皇ゆかりの地をめぐるツアーリーに実際に参加し、ツアーパートナーの視点での気付きを得るなど、ガイドとしての能力向上につながるプログラムを提供しています。今後も、研修会を随時開催することと、ガイドとしての資質向上や観光ボランティア団体の相互交流の推進に努めています。(建設経済部長)

**中高一貫校や大学の誘致により  
地域の活性化を図つては**

**Q** 瀬戸大橋を中心とした本市の立地の強みを生かし、中高一貫校や大学を誘致することで、地域の活性化や人口減少対策が図られると考えるが。

**A** 本市の交通の結節点としての地理的優位性を生かすことは非常に重要であり、中高一貫校や大学の誘致は交流人口の拡大、本市の活性化に寄与するものと考えています。

一方で、国全体が人口減少に転じる中で各学校がしのぎを削っている状況であり、本市においては誘致可能な土地や誘致に伴う財政負担など、大きな課題もあります。

(市長)

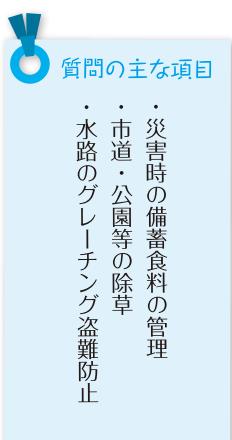


**ライフステージに応じた切れ目のない障がい者支援施策の充実を**

**Q** 障がい児をもつ家庭の悩みは厳しいものがあるが、保育所、幼稚園、小学校、中学校の成長過程の各段階で、支援する担当課が変わっていく。家庭との信頼関係を築き、支援をより充実させるためにも、専門職員を配置した常設の相談窓口を設置すべきと考えるが。

**A** 常設の相談窓口の設置や、専門職員の配置は、現時点では難しいと考えていますが、発達障がいや発達の気になる子供に対し、乳児期・幼児期・学童期と発達段階に応じた一貫性のある効率的な支援が重要であると認識しています。継続的に総合的に支援ができるよう、各機関の相談体制の充実や関係機関のより緊密な連携に努めています。

(健康福祉部長)



**西浦蓄養センターの解体撤去を**

**脇 芳美 議員 新緑**

**西浦漁港の早急な修繕を**

**Q** 瀬居町西浦にある蓄養センターは、クルマエビ、トラフグなどの養殖に約10年ほど活用されたが、現在はワカメの種付けのみに40年が経過し、施設の老朽化が進んでおり、台風等の災害により施設の崩壊による2次災害も懸念されることから、施設を解体し、更地にすべきと考えるが。

**A** 西浦蓄養センターは、建設当初は施設が有効に活用され、水産振興に貢献してきましたが、現在は、生簀の一部をわかれの種付けに利用し、敷地内は漁具置場として使用している状況です。

長年の潮風の影響もあり、施設全体の老朽化が進んでいることから、利用方法や施設管理について、地元の運営委員会等と協議していきます。

(建設経済部長)

(建設経済部長)

**Q** 西浦漁港の物揚げ場に使用している矢板の一部約300mの腐食が進み、老朽化していることから早急に修繕すべきである。また、修繕に際しては、漁船同士の接触事態を使用している状況である。築後40年が経過し、施設の老朽化が進んでおり、台風等の災害により施設の崩壊による2次災害も懸念されることから、施設を解体し、更地にすべきと考えるが。

**A** 当該箇所の矢板の腐食は平成25年度の調査で確認しており、工事区間や工法等を検討し、詳細な現地調査を行う中で、工事の実施について決定していきたいと考えています。

工事の実施時期については、他の修繕が必要な漁港との緊急性などを考慮しながら優先順位等を決定しています。

また、整備に当たっては、地元利用者の意見も踏まえながら、形状等の内容について決定していきます。

- 質問の主な項目
- ・市長の坂出創生展望所見
  - ・新エネルギー・タウン坂出の創出
  - ・徹底した物流拠点都市への展伸

**A** 将来の二次エネルギーでは電気、熱に加え、水素が中心的役割を担うことが期待されており、水素社会の実現に向けて各分野で実証実験が行われているところです。しかし、水素の利活用を本格化していくためには、技術面、コスト面、制度面、インフラ面で多くの課題も存在しているのも現状です。

このような状況の中、水面下で進行する企業の動きなどがあれば、本市としても県や関係企業と連携を図りつつ、可能な限りの協力は惜しまない考え方であり、今後とも国、県及び企業の動きを注視していきます。

(副市長)



(建設経済部長)

水素社会の実現に向け、「新エネルギー・タウン坂出」を目指しては

**Q** 国の次世代エネルギー政策として、水素社会の実現が挙げられている。既に水素エネルギー供給のポテンシャルを持つ多くの州地区を活かし、「新エネルギー・タウン坂出」の実現を目指す取り組みを総合戦略等に盛り込んではどうか。

坂出港にR-O-R-O船を誘致し、物流拠点としての本市の価値を高める取り組みを

**Q** 関係企業の協力を得ながら坂出港2号大型碇繋場泊地(「スマモ石油南側泊地」)を利用して、R-O-R-O船航路の誘致が実現すれば、物流拠点としての価値も高まり、新たな企業の誘致等にも資すると考えるがどうか。

**A** R-O-R-O船による貨物輸送は、荷役時間の短縮や長距離輸送におけるコスト低減が期待され、物流拠点としての機能強化などが図られるとして考えられます。

R-O-R-O船による輸送の実現については、企業の動向や各州地区的R-O-R-O船による集荷量や輸送効果等を把握した上で、慎重に判断したいと考えていますが、R-O-R-O船が接岸トラック等が船舶に出入りするための係留施設等や、R-O-R-O船が接岸可能な新たな公共岸壁を整備する必要があり、多大な費用が必要となると考えられます。

**A** R-O-R-O船による貨物輸送は、荷役時間の短縮や長距離輸送におけるコスト低減が期待され、物流拠点としての機能強化などが図られるとして考えられます。

**A** 将来の二次エネルギーでは電気、熱に加え、水素が中心的役割を担うことが期待されており、水素社会の実現に向けて各分野で実証実験が行われているところです。しかし、水素の利活用を本格化していくためには、技術面、コスト面、制度面、インフラ面で多くの課題も存在しているのも現状です。

こののような状況の中、水面下で進行する企業の動きなどがあれば、本市としても県や関係企業と連携を図りつつ、可能な限りの協力は惜しまない考え方であり、今後とも国、県及び企業の動きを注視していきます。

**A** 将来の二次エネルギーでは電気、熱に加え、水素が中心的役割を担うことが期待されており、水素社会の実現に向けて各分野で実証実験が行われているところです。しかし、水素の利活用を本格化していくためには、技術面、コスト面、制度面、インフラ面で多くの課題も存在しているのも現状です。

こののような状況の中、水面下で進行する企業の動きなどがあれば、本市としても県や関係企業と連携を図りつつ、可能な限りの協力は惜しまない考え方であり、今後とも国、県及び企

人工土地の再生のために着実な取り組みを

人工土地総合再生計画の現状と今後のスケジュールは。

**A** 現在は、人工土地の地質調査等を行い、耐震補強計画の検討を行っており、中心市街地の活性化を目的に、既存施設の再編等の空間利用計画の検討など、基本設計の提案に向けて取り組んでいます。

今後は、基本設計をもとに、地権者や入居者に説明を行い、意見等を伺いながら合意形成を図っていく予定ですが、権利関係が複雑であるなど、様々な課題や問題点があることから、かなりの期間を要することが予想されます。

また、構造計算が適切であるとの評価を得るため、耐震補強計画に基づき補強設計に係る構造計算書を作成し、第三者機関の構造評定を受けます。

(建設経済部長)

ラジオ体操の市内全域への普及によりコミュニティの活性化を

人工土地総合再生計画の現状と今後のスケジュールは。

**A** 昨年7月20日に市民広場においてラジオ体操を開始してから1年が経過したが、さらなる普及期間中に市内約80カ所においてラジオ体操が実施されていることから、新たなラジオ体操広場の設置を検討してきます。また、市体育協会においても体育の日を坂出市市民健康づくりの日とし、ラジオ体操講習会を開催を予定するなど、ラジオ体操普及の取り組みがなされています。

毎朝ラジオ体操のために集まり顔なじみになることで、お互いの健康、安否を気遣うなど、見守り活動としての一面もあり、市民参加、市民共働の観点から、非常に有益な事業であると考えることから、今後もより多くの市民がラジオ体操を行えるような環境づくりに努めています。(市長)



- 質問の主な項目
- ・公共交通の利用状況
  - ・市立病院敷地内への循環バス停留所の移設
  - ・谷町消防屯所東側の道路拡幅

**市民アンケートの結果をもとに各種政策立案に生かしては**



質問の  
主な項目

- ・まちづくり基本構想と人口ビジョン及び地方版総合戦略
- ・まちづくり基本構想の策定に向けた市民アンケート調査
- ・歳入増に向けた取り組み

A アンケートの結果において、市の満足度がマイナスになっている点について、行政として真摯に受け止めなければならないと考へています。また、満足度がマイナスになっている項目については、例え平均値以上であっても、今後改善していくかなければならぬということは、十分認識しているところであります。

(総務部長)

Q 昨年末に実施されたまちづくり基本構想の策定に向けた市民アンケート調査において、市の各種施策における重要度と満足度を5段階で評価した項目があり、その分析結果がインターネットでも公表されている。数値化して分析している内容では、その分析結果の中で満足度がマイナスになっている項目について一部現状維持とする結果となっているが、どのように考えるか。

A アンケートの結果において、市の取り組みに対する満足度の平均値がマイナスになつて、いる点について

は、行政として真摯に受け止めなければならないと考へています。また、満足度がマイナスになつて、いる項目については、例え平均値以上であっても、今後改善していくかなければならぬということは、十分認識しているところであります。

(総務部長)

Q 4月から8月までの4ヶ月間の本市ふるさと納税の寄付金額をみると、すでに平成24年度及び平成25年度の実績を超えて、いるが、その要因をどのように分析しているか。

A 今年度より、返礼品を大幅にリニューアルし、「さかいでブランド」に認定された本市ゆかりのある商品を中心に、28品目に増やし、寄附金の額に応じて、返礼品を選択できるようにしました。

Q 寄付をする方々の利便性や担当者の事務処理軽減を考えると、クレジットカードによる寄付金の支払いを可能とするべきであると考えるがどうか。

(副市長)

**現行制度の見直しを行いふるさと納税のさらなる充実を**

**現行制度の見直しを行いふるさと納税のさらなる充実を**

**中小企業振興基本条例の制定に向けた実態調査の実施を**



質問の  
主な項目

- ・坂出商工会議所との連携強化
- ・インキュベーションオフィスの設置
- ・定住促進に向けた本市のイメージ戦略

A 当該事業の効果等の検証過程への全数調査が必要とされていることから、本市としても、商工会議所との連携を図りながら、各事業者の課題、問題点の把握に努めています。

(建設経済部長)

Q 条例制定に向けて事業者の要望や意見を調査、把握することが重要であると考えるが。

A 中小企業事業者の振興策を講じる上で、各事業者の課題、問題点の把握など、実態調査の実施が必要と考えています。

Q 現在、小規模事業者経営発達支援融資制度の創設に向けて、坂出商工会議所が、経営発達支援計画の認定申請を予定しています。認定後、制度を運用するに当たり、小規模事業者への全数調査が必要とされていることから、本市としても、商工会議所との連携を図りながら、各事業者の課題、問題点の把握に努めています。

(建設経済部長)

**新婚世帯家賃補助金利用者への定住促進ニーズ調査を実施しては**

**新婚世帯家賃補助金利用者への定住促進ニーズ調査を実施しては**

A 当該事業の効果等の検証過程においては、利用者の声や意向の把握は不可欠であり、今後の施策を立案、推進していく上で有用であることから、今後、速やかにアンケート調査を実施していきます。(総務部長)





(福井縣)

### 防災まちづくりに向けた制度化や予算措置の充実を

**Q** 市内の多くの自主防災組織や地域コミュニティが、行政と協働して具体的な防災事業を進めるには、制度化や予算措置の充実が必要と考えるがどうか。

**A** これまでに「公共施設の耐震化」や「護岸のかさ上げ工事等の高規対策事業」などの防災関連事業を計画的に取り組んでおり、今後は県の地震・津波対策海岸堤防等整備計画に基づく事業などを進めていく予定です。また、防災関連事業全体の制度化についても、今後の検討課題として研究していきます。

本市においては、安全で安心なまちづくりを最重要施策に位置付けており、今後も厳しい財政状況の中ではあります。が、防災対策経費への優先的予算配分に努めています。



## 質問の 主な項目

- ・マイナンバー制度
  - ・防災まちづくり
  - ・学校給食無償化

また、子どもの食育については、給食費の有償、無償とは関係なく推進していくべきものであると認識しておられ、今後も学校、家庭、地域が連携しながら取り組んでいきます。

(教育部長)

Q

**Q** 子どもの貧困対策や少子化・人口減対策、教育推進の面などからも学校給食の無償化は必要であると考えるがどうか。

**A** 本市においては、就学援助制度によつて、経済的理由で就学困難と認められる児童生徒の保護者を対象とした給食費等の必要な援助を行つています。

人口増対策としての無償化に関しては、自治体ごとの様々な考え方があるうかと思われます。人口増となつた他の市の事例では多くの要因が組み合わされて、結果的に人口増が図られたものとも考えられることから、十分な分析が必要になつてくるものと思われます。

本市においては、安全で安心なまちづくりを最重要施策に位置付けており、今後も厳しい財政状況の中ではあります。が、防災対策経費への優先的予算配分に努めていきます。

(副市長)

また、子どもの食育については、給食費の有償、無償とは関係なく推進していくべきものであると認識しておられ、今後も学校、家庭、地域が連携しながら取り組んでいきます。

また、子どもの食育については、給食費の有償、無償とは関係なく推進していくべきものであると認識しております。今後も学校、家庭、地域が連携しながら取り組んでいきます。

## 学校給食の無償化に向け 具体的な調査研究を

本会議をインターネット配信  
～いつでも・どこでも市議会を～

坂出市議会では、一般質問の様子をインターネットで配信しています。6月から9月までの視聴件数は556件と、多くの方にご利用いただいている。議場で繰り広げられる活発な議論をぜひインターネットでご覧ください。

- ①市議会ホームページから「インターネット録画映像」をクリックします

②「会議名でさがす」をクリックします

※このほか「議員名」や「ことば」で  
さがすこともできます

坂出市議会 映像配信		文字サイズ 小 大
<a href="#">トップページ</a>	会議名でさがす	議員名でさがす
<a href="#">ことばでさがす</a>		
会議名でさがす		
会議名一覧から選択してください。		
平成27年	平成27年9月定例会	平成27年6月定期会
<a href="#">前の画面に戻る</a>		

③「平成27年9月定例会」をクリックすると、9月定例会の様子がご覧になれます



全議案  
全会一致で可決

付託議案  
4件

## 総務消防 委員会



### 新庁舎の基本設計の概要が明らかに！ 完成は当初予定より2年遅れに

新庁舎の建設基本設計段階における概算事業費が建設物価の増嵩、基本計画策定時に盛り込まれていなかった立体駐車場及び倉庫棟建設費用の追加等により、概算事業費を大きく上回り、種々事業費削減策を講じても依然として大幅なコスト増となることから、さらなる事業費縮減策を検討するため、実施設計の着手を延期するとの報告がありました。これにより、新庁舎の完成が着手延期で1年程度、工期の延伸で1年程度遅れる見込みです。

**Q 事業費の縮減目標値は。**

**A** 具体的な目標値は設定していませんが、基本構想、基本計画における理念や方針から大幅に逸脱しない範囲で可能な限りの縮減を目指していきます。

#### 議員の意見

市庁舎は平時には多数の市民が利用し、非常時には災害対策本部が置かれることから、過度の経費縮減により安全性や機能性は損なうことのないよう留意して取り組むことを求める。

全議案  
全会一致で可決

付託議案  
2件

## 教育民生 委員会



### ナカンダ浜周辺の環境保全整備の充実を！

**Q** 台風11号により、大きな被害を受けたナカンダ浜周辺等の復旧工事を実施していくが、今後も同規模の台風の襲来を想定した工法の検討が必要では。

**A** 貴重な遺跡であるナカンダ浜の保護を第一に考え、これまでの木柵ではなく、コンクリート製のブロックの設置により、遺跡を保護していく考えです。

#### 委員会の要望

瀬戸大橋が一望できるナカンダ浜周辺は、自然と歴史が共存する全国に誇れる風光明媚な景勝地であるだけでなく、市民の郷土愛を育む象徴的な場所でもあることから、瀬戸内国際芸術祭の開催に向けた早期の災害復旧にとどまらず、未来への遺産として子や孫の世代に自信を持って引き継ぐように、環境保全整備の充実を図るよう要望する。



## 坂出北フルインター建設促進特別 委員会



### 坂出北フルインター化に向けた取り組みの進捗状況は！

**Q** フルインター化に向けた「坂出北スマートインター チェンジ準備会」の今後のスケジュールは。

**A** インターチェンジ整備に伴う周辺道路の影響分析やニーズの把握等の検討結果を踏まえて、準備会において、位置や構造について協議検討を進めていますが、スケジュールについては、その進捗状況によることが大であり、現段階での日程公表は困難であると考えています。

**Q** 地元住民にとっては、フル化整備は重要事項であるが、地元住民への周知及び説明の時期はいつ頃になるのか。

**A** 準備会において位置や構造等がある程度決定された段階で、地区協議会を結成し、協議していくこととなるが、これと並行して地元関係者への説明も必要と認識しています。

詳細な時期については、今後、国、県及び関係機関と協議していきます。



付託議案  
5件

## 市民建設 委員会



### マイナンバー制度導入に向けて万全の対応を！

**Q** 市民の方々に郵送される「通知カード」が届かない場合の対応は。

**A** 通知カードが届かない場合は、追跡調査を行うとともに、府内の関係課と連携して情報収集を行うことで、最終的には本人の手元に届くようにしたいと考えています。

**Q** 国全体では、約5%に当たる275万世帯の方が通知カードを受け取れない可能性があると推定されるが、本市の場合の想定は。

**A** 想定は困難ですが、例えば、投票所入場券が届かないケースを参考に、返送状況等の情報収集も行っていきたいと考えています。



坂出市手数料条例の一部改正、坂出市一般会計補正予算案第2号は、全会一致に至らず採決により可決。その外は全て全会一致で可決。

# 平成27年 9月定例会の審議結果

議員数=20名 表決参加議員数=19名  
※議長は表決には加わりません。

## 市長提出議案



坂出市個人情報保護条例の一部を改正する条例制定  
坂出市手数料条例の一部を改正する条例制定  
平成27年度坂出市一般会計補正予算案第2号

原案可決に  
賛成  
反対

植原 泰、脇 芳美、東原 章、鳥飼年幸、若谷修治、村井孝彦、  
斎藤義明、出田泰三、茨 智仁、大藤匡文、植條敬介、若杉輝久、  
松成国宏、楠井常夫、吉田耕一、大前寛乗、山条忠文、東山光徳

野角満昭

反対意見（要旨）個人情報漏えい等の問題が懸念されることから、マイナンバー制度に賛同できないため、関連条例には反対である。

## 全議員が賛成した議案(可決・継続審査・同意)

## 市長提出議案

### 予算

平成 27 年度坂出市介護保険特別会計補正予算案第2号

議案内容等の詳細は、  
坂出市議会ホームページ  
【議案内容等・審議結果】  
をご覧ください。

### 条例

坂出市職員の再任用に関する条例および坂出市職員  
退職手当条例の一部を改正する条例制定

### 決算

平成 26 年度坂出市一般会計決算認定など 決算認定案 13 件

### その他

坂出市職員懲戒審査委員会委員の任命 など人事案件 4 件  
公有水面埋め立て などその他案件 4 件



## 9月定例会で同意した人事案件

【敬称略】

### ◎坂出市職員懲戒審査委員会委員

大藤匡文 松成国宏  
吉田清志 加藤悟史  
好井和彰

### ◎坂出市教育委員会委員

斎藤恵子

### ◎坂出市公平委員会委員

吉田茂

### ◎人権擁護委員候補者

中村悠紀子

## 9月定例会の日程

9月3日	本会議	提案説明
9月8日	本会議	議案質疑・委員会付託
	委員会	決算審査特別委員会の審査
9月9日	本会議	一般質問（個人）
	委員会	決算審査特別委員会（議案調整）
9月10日	本会議	一般質問（個人）
9月11日	本会議	一般質問（個人）
	委員会	議会運営委員会の調査
9月14日	委員会	総務消防委員会の審査
9月15日	委員会	市民建設委員会の審査
9月16日	委員会	教育民生委員会の審査
9月17日	委員会	坂出北フルインター 建設促進特別委員会の調査
9月24日	議員総会 本会議	委員長報告 委員長報告への質疑・討論・採決 追加議案の提案説明 質疑・討論・採決

# Voice

~まち歩きの中で~

坂出商工会議所青年部が主催した「バル・in・SAKAIDE」。毎週金曜には坂出駅前に立ち飲みバルが出店し、仕事帰りのサラリーマンやOL等で大盛況となりました。屋外の解放感も手伝い、リラックスした様子の皆さんに、坂出版総合戦略に関して、お話しを伺いました。

Q

**坂出創生！坂出を盛り上げるために期待したい施策は？**



**皆さんも認知症サポーター養成講座を受講してみては！**

認知症の方々に優しいまちづくりを進めるため、全議員が認知症サポーター養成講座を受講しました。受講後には、認知症サポーターである証の「オレンジリング」が授与されました。

## 編集後記

9月議会も終わり、各議員も地元の秋祭りに参加しました。祭りも地域によって様々です。ですから地域によって文化も歴史も様々であるということです。いろいろな人に話を聞くと、獅子舞の存続が危ぶまれる地域もあります。すなわち祭り自体が無くなる恐れがあります。伝統を次世代につなぐべく、早急な人口減対策を構築し実現させなければ、各地域のすばらしい伝統・文化もさびれてしまします。国では地域創生を進める中、本市においても坂出版総合戦略・人口ビジョン等を早急に仕上げ、魅力ある町坂出にしなければならないと、改めて思い知らされたのです。（東原）

## 広報広聴委員会

委員長 若杉輝久  
副委員長 出田泰三  
委員 植原 泰  
東原 章  
鳥飼年幸  
若谷修治  
茨 智仁  
吉田耕一

## 表紙:香風園

毎年、仲秋の名月にあわせ、香風園をライトアップし観月会が開催されています。ところで香風園は、平成元年頃に実施されたふるさと創生事業により交付された1億円を事業費の一部として整備されています。

12月定例会は  
12月初旬開会予定



坂出商工会議所青年部  
廣瀬さん

## こんな意見がありました

- ・魅力的な学校・大学の誘致を
- ・市外在住者から見ても素晴らしい施策をやっている。  
もっと情報発信を。
- ・商店街を含めた後継者不足対策に力を注いでは。
- ・交通の結節点としての利便性をもっと活用しては。
- ・移住したいという声も聞くので対策を。

## 全国から坂出市に

- |                                     |
|-------------------------------------|
| 8/11 東京都杉並区議会<br>市民後見推進制度           |
| 8/24 長崎県雲仙・南島原保健組合議会<br>市立病院の経営改善   |
| 10/15 東京都新宿区議会<br>認知症初期支援チームによる取り組み |
| 10/21 埼玉県加須市議会<br>市民後見推進制度          |
| 10/26 東京都三鷹市議会<br>認知症初期支援チームによる取り組み |
| 10/28 群馬県太田市議会<br>都市計画線引きの見直し       |
| 10/30 愛知県清須市議会<br>駅周辺整備主要プロジェクト     |